

学校再編準備委員会（第6回通学・安全部会） 結果概要

■ 開催日時 令和7年11月17日（月） 午後7時から午後9時15分まで

■ 開催場所 天名公民館 多目的ホール

■ 出席者 【委 員】 6人（2人欠席）

【教育委員会事務局】 6人

教育政策課主幹兼政策推進グループリーダー

政策推進グループ（2人）

教育指導課副参事兼研究グループリーダー

教育支援課長

教育支援課副参事兼学校支援グループリーダー

■ 傍聴者 2人

■ 事項

1 開会

2 協議・報告事項

（1）スクールバスの運行に係る通学路について 資料1

→資料に基づき説明後、質疑応答及び意見聴取

«質疑応答、意見聴取»

（参加者）

・ スクールバスに全員が乗ったかどうかの確認は運転手が行うのか。

（教育委員会事務局）

・ 運転手は確認ができないと考えている。今後検討していく。

（参加者）

・ 今後、通学路やスクールバスの乗降場所が変更となる可能性はあるのか。

（教育委員会事務局）

・ スクールバス運行後の状況や児童の人数等を踏まえ、今後大きな変更があれば見直す可能性がある。

（参加者）

・ スクールバスの添乗員はどうなるのか。

（教育委員会事務局）

・ 予算要求を行っている。

(参加者)

- ・ 予算はいつ確定するのか。

(教育委員会事務局)

- ・ 議会の承認が必要なため、予算確定は3月となる。
- ・ 予算編成の過程でどうなっていくかはわからないが、動き出せるところから動いていく必要があると考えている。

(参加者)

- ・ バス事業者が添乗員を手配するのではないのか。

(教育委員会事務局)

- ・ そうではない。
- ・ スクールバスの添乗員に関する予算を要求しているが、朝と夕方の業務であるため、募集を行っても応募があるのかという懸念がある。

(参加者)

- ・ 働き方的に難しいのではないか。

(教育委員会事務局)

- ・ 人材派遣の業者にも確認を行ったが、対応は難しいという回答だった。

(参加者)

- ・ 保護者や地域の人が添乗するのは難しいのか。

(教育委員会事務局)

- ・ 前回の部会で、それは難しいという意見があったと思う。

(参加者)

- ・ 県内でスクールバスを運行している市町は添乗員がいなくても問題は生じていないのか。

(教育委員会事務局)

- ・ 大きな問題は生じていないと認識している。

(参加者)

- ・ 桑名市はスクールバスの添乗員をどう確保しているのか。

(教育委員会事務局)

- ・ バス事業者に運行業務とあわせて委託しているようである。

(参加者)

- ・ 仕様書に添乗員の件は明記していないのか。

(教育委員会事務局)

- ・ 添乗員が乗るスペースを確保することは求めている。添乗員の確保まで条件とする

と、入札に参加されなかつた可能性もある。

- ・ なお、契約後、添乗員の確保の可否についてバス事業者に確認したが、難しいとのことであった。

(参加者)

- ・ スクールバスの契約期間は何年か。

(教育委員会事務局)

- ・ 運行期間3年の契約である。

(参加者)

- ・ 募集しても集まらないと思う。

(教育委員会事務局)

- ・ 確保ができなければ、事務局の職員が対応することも考えている。

(参加者)

- ・ それは大変ではないか。

(教育委員会事務局)

- ・ 地域にお願いできる部分を助けていただけたとありがたい。
- ・ 様子を見ながらにはなると思うが、添乗員は一定期間で考えている。

(参加者)

- ・ 乗降管理システムはどうなっているのか。

(教育委員会事務局)

- ・ 添乗員と同様に予算が絡む話であり、バス事業者とも協議をしていく必要がある。

(参加者)

- ・ どのようなシステムを考えているのか。

(教育委員会事務局)

- ・ 乗車や降車の際に、二次元コードを端末に読み込ませると、時刻が記録されるシステムを想定している。

(参加者)

- ・ 保護者や学校も状況を確認できるのか。

(教育委員会事務局)

- ・ 確認可能である。

(参加者)

- ・ それだけで十分なのか。

(参加者)

- ・ GPSがあれば児童の居場所がわかるが、プライバシーや費用面を考えると、行政側から言うのは難しいと思う。
- ・ スクールバスの乗降がわかるものであれば良いと思う。

(参加者)

- ・ 地域の見守りの人もシステムで確認ができるのか。

(教育委員会事務局)

- ・ システムでの確認は保護者や学校を想定している。
- ・ 詳細はまだ決まっていないが、乗降場所ごとに、通学団の取りまとめの役割を担う児童を割り当てることも考えられる。

(2) スクールバスの運行について **資料2**

→資料に基づき説明後、質疑応答及び意見聴取

«質疑応答、意見聴取»

(参加者)

- ・ スクールバスは専用の車両を使用するのか。

(教育委員会事務局)

- ・ 専用の車両ではない。

(参加者)

- ・ 郡山の児童が天名の放課後児童クラブを利用するため、下校時のスクールバスに乗車することは可能か。

(教育委員会事務局)

- ・ スクールバスの利用対象者ではないため、乗車不可である。

(参加者)

- ・ 同様の理由で、合川、天名の児童が下校時だけ青ルートのスクールバスに乗車することは可能か。

(教育委員会事務局)

- ・ 可能である。

(参加者)

- ・ 天名の放課後児童クラブ利用者が多く、1便だと定員を超える場合はどうなるのか。

(教育委員会事務局)

- ・ 青ルート以外での天名の放課後児童クラブ利用者が何人になるかは確定していないが、1便で対応できない場合は、2便で対応する想定でバス事業者と協議を行っている。

(参加者)

- ・ 他のルートのスクールバスが青ルートの乗降場所である御園を経由するということはないのか。

(教育委員会事務局)

- ・ ない。ルートの変更が生じない形で考えている。

(参加者)

- ・ 児童の放課後児童クラブの利用について、学校で把握できるのか。

(教育委員会事務局)

- ・ 把握可能である。

(参加者)

- ・ 運転手が児童の降車を確認するのはどのタイミングか。

(教育委員会事務局)

- ・ 登校時の学校到着時と下校時の最後の降車場所である。

(参加者)

- ・ 学校での乗降時は、児童が全員スクールバスから降りた又は乗ったという状況を確認してから、4台まとめて発車するということか。

(教育委員会事務局)

- ・ その想定である。

(参加者)

- ・ 小規模特認校制度を利用している合川小学校のフレンズの児童はスクールバスを利用可能か。

(教育委員会事務局)

- ・ 利用可能である。

(参加者)

- ・ スクールバスは遠足や修学旅行の際も利用できるのか。

(教育委員会事務局)

- ・ 集合時刻が早く、スクールバスの基本の運行時刻では間に合わないような場合は、保護者に送迎をお願いしたいと考えている。

(参加者)

- ・ これまでも修学旅行の際は、直接学校まで送つていったことがある。
- ・ 運動会の際のスクールバスはどうなるのか。

(教育委員会事務局)

- ・ スクールバスを運行する。

- ・ 保護者の車の駐車場については、検討しているところである。

(参加者)

- ・ 開校時にこどもたちの様子をよく知っている先生がいないのは不安である。

(教育委員会事務局)

- ・ そのような声や要望があったことは事務局で共有を行う。

(3) 保護者・地域向けスクールバス試乗会について 資料3

→資料に基づき説明後、質疑応答及び意見聴取

«質疑応答、意見聴取»

(参加者)

- ・ 保護者・地域向けスクールバス試乗会の目的は何か。

(教育委員会事務局)

- ・ スクールバスの車両や設備、運行ルートを実際に確認してもらうことである。

(参加者)

- ・ 平日よりも休日の方が参加しやすいと思う。

(参加者)

- ・ どれくらいの所要時間か。
- ・ 休日であれば、8時30分や9時頃から始まる時間帯が良いと思う。

(教育委員会事務局)

- ・ 1時間程度を想定している。
- ・ バス事業者の予定を確認する必要があるため、変更となる可能性もあるが、本日の意見を踏まえ、2月7日又は2月14日の実施で考えたい。

(参加者)

- ・ 児童のスクールバス試乗会はいつか。その際にはシステムの確認もできるのか。

(教育委員会事務局)

- ・ 児童のスクールバス試乗会は3月3日である。
- ・ システムに関しては、可能であれば準備したいと考えているが、バス事業者との調整が必要な部分がある。予算の状況もある。

(参加者)

- ・ 保護者・地域向けスクールバス試乗会の開催はありがたい。

(参加者)

- ・ システムについて、試乗会の際にはデモ機を使用するという方法もあるのではないか。

(教育委員会事務局)

- ・ 本番環境や端末の台数が確保できるかわからない。

(教育委員会事務局)

- ・ 通学路に関する補足になるが、御園西の乗降場所付近の白線やゼブラゾーンについては今年度対応すると聞いている。

(参加者)

- ・ スクールバス運行開始後もこの会議は継続していくのか。

(教育委員会事務局)

- ・ 学校運営協議会が想定されるが、スクールバスが運行してからも改善すべきことが出てくると思われるため、対応を検討する必要があると考えている。

(参加者)

- ・ ブラッシュアップを行っていくということか。

(教育委員会事務局)

- ・ そうである。

3 その他

- ・ 次回の通学・安全部会は、検討状況を踏まえて開催する。

4 閉会